

H26 年 3 月 31 日

(あて先) 熊本市長

住所 熊本市北区

団体名 くまもと歯っぴーかむカムひごまる協議会

代表者 職名 会長 氏名 小山 和作 印

熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成 25 年 4 月 1 日付指令 (市協) 第 3-1 号により、平成 25 年度熊本市市民公益活動支援助成金の交付を受けました事業の実績について、下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

生きる喜びに繋がる口の機能の発達を促す「ベロタッチ」の普及事業

2 助成事業の実施期間

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 30 日

3 助成事業の内容

ベロタッチマニュアルの作成、ベロタッチ研修会の開催

4 事業の成果

- ① ベロタッチマニュアルの作成：保育園だけでなく専門職や施設でも協力者が増えた。
- ② ベロタッチ研修会の開催：ベロタッチの実践等の理解者が増加した。
- ③ 子育て中の保護者を口の中から支援する団体や地域が増加し、環境が改善された。

5 助成事業の実施状況

- (1) 事業収支決算書 (様式第 16 号)
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類等
- (3) その他参考となる資料

事業報告書

	平成 25 年度
事業名	生きる喜びに繋がる口の機能の発達を促す「ペロタッチ」の普及事業
目的	幼稚園や保育園などで、食べない、言葉が遅い、食べるのに時間がかかる、極端な偏食があるという子どもの相談は増えており、母親にとって大きな育児負担となっています。熊本市で開発した「ペロタッチ」は舌を刺激する簡単な方法で、副作用がなく、費用がかからないうえ、中央区での実績では、かなりの効果が認められています。この方法を普及させて、母親の負担を軽減し、育児を支援することは熊本市が子育てしやすい都市になるために役立つと思います。
事業期間	平成 25 年 4 月 ～ 平成 26 年 3 月
具体的な事業内容	1. ペロタッチマニュアルの作成 ・作成会議 5 回 日頃は交流の少ない専門職が意見を出し合って作成できた。 ・編集会議 5 回 デザインや挿入画等は今後の活用を考えてオリジナルとした。 ①職種の協力で作成：医師、言語聴覚士、理学療法士、歯科医師、歯科衛生士、保健師等、多くの専門職と協力して作成した。 ②予定より専門性の高いものとなった：会議を重ねた過程で専門性が高まった。 ③歯科医師会や歯科衛生士会の承認が得られた：最終段階で会長の承認を得た。 ＜ペロタッチマニュアルの配布先＞ ①保育園に 157 冊、九州管内の大学小児歯科学教室に 240 冊、小学校&地域子育てサークルに 50 冊、子育て支援課、中央区役所保健子ども課に各 5 冊 配布 ②包括支援センター、8020 健康づくりの会中央支部に 300 冊配布 ③歯科医師会、歯科衛生士会等団体に 200 冊 2. ペロタッチ研修会の開催 ・協議会単独での開催 4 回：参加者総数 141 名 (9/7：参加者 48 名、10/12：参加者 26 名、11/2：参加者 37 名、H26.3/30：参加者 30 名) ・熊本県歯科衛生士会での開催 参加者総数 151 名 (熊本市支部 7/21：72 名、菊池郡支部 7/20：28 名、水俣葦北支部 6/23：22 名、山鹿支部 10/6：29 名) ・宇城管轄保健師研修での開催 (3/17) 参加者 28 名 ・学会での発表 (10/20) 福岡市歯科医師会館 参加者 500 名
活動場所	あいぽーと、熊本保健科学大学研修室、森都心プラザ、保育園、子育てサークル等
期待される効果	☆多くの専門職と協働で作成したため、今後複数の職能団体でも普及が期待できる ☆マニュアルができたことで、わかりやすくなった利用しやすくなったという声がある。 ☆学会のサポートがあったため、自院や組織で実践したいという申し込みが増えた。 ☆ペロタッチの講演依頼の増加を期待できる。 ☆鹿児島や東京の歯科医院から視察があった。 ☆熊日に掲載された後、問い合わせが増えた。 ☆歌を作ったところ、子どもに受け入れてもらいやすくなった。 1. 舌の刺激によりだ液が増加し、食欲が増す 2. 舌の動きが活発になる。(はっきり話す・おいしく食べることが出来る) 3. 口輪筋の発達促進や粘膜の刺激により笑顔が増え、親子の愛着が増す

事業収支決算書(H25年4月～H26年3月)

項 目		金 額 (円)	内 訳
収 入	自己資金	93,060	会費 2,000円×21名=42,000
			事業収益 51,060円
			その他
	市民公益活動支援助成金	177,000	当該事業に対する助成決定額
	その他の補助金・助成金		
	寄附金・協賛金	44,795	個人・団体からの寄附金
	その他		
	計	314,855	
支 出	助成対象経費	39,000	講師謝礼 10,000円×3名=30,000円 3,000円×1回×1名=3,000円 3,000円×2回×1名=6,000円
		8,000	ボランティア謝礼 1,000円×2回×4名
		33,000	会議出席謝礼 作成会議 1,000円×5回×5名=25,000円 編集会議 1,000円×3回×1名=3,000円 1,000円×1回×5名=5,000円
		180,768	チラシ、デザイン、マニュアル作成費他
		17,820	歯ブラシセット
		10,110	会場費(森都心プラザ 7,900円マイク等 2000円) 振込み 210円
		7,000	福岡-熊本 5,000円(尾崎教授交通費) 講師交通費 500円×1回×4名=2,000円
		8,757	実習用キッチンスケール 1,260円 紙粘土 735円 文具 1,404円 ボイスレコーダー 4,327円 SDカード 1,031円
		小計	304,455
	助成対象外経費	10,400	500円×16名=8,000円 150円×16名=2,400円
		小計	10,400
	計	314,855	